

# 四国遍路と南予・卯之町

- 世界遺産登録に向けての現状と課題 -



四国遍路は四国内の88の札所を巡る信仰の旅で、長い歴史を超えて地域と共存し継承されてきた、世界に誇る「生きた文化遺産」です。今回のトークでは、四国遍路の歴史や弘法大師信仰、そして南予地方の札所や遍路道、「お接待」、「遍路墓」等の遍路文化とともに、世界遺産登録に向けた取り組みの現状や課題を紹介します。

画像は『愛媛面影』国立国会図書館蔵を加工

令和7年 **4** 月 **5** 日【土】

**時間** 10:00～11:30 (30分前受付開始)

**対象者** どなたでもご参加いただけます

**参加費** 無料

**定員** 先着30名 (当日先着順)

**会場** 愛媛大学地域協働センター南予 講義室  
〒797-0015 西予市宇和町卯之町2-24 (宇和米博第二校舎)

**問合先** 愛媛大学地域協働センター南予  
TEL0894-62-0595 omoto.takahisa.fk@ehime-u.ac.jp

講師

Takahisa Omoto  
**大本敬久**

愛媛大学地域協働センター南予  
副センター長

専門は民俗学・日本文化論。研究テーマは信仰・儀礼伝承に関する民俗学的研究。現在、愛媛大学地域協働推進機構特定准教授、地域協働コーディネーター・四国遍路・世界の巡礼研究センター協力研究員。西予市在住。

主催：愛媛大学地域協働センター南予